

稲作だより

～第10号 適期刈取編～

刈取準備を万端に！もうすぐ刈取適期です！

北村山地域の出穂盛期は8月6日（平年+1日）で概ね平年並みとなったものの、圃場による出穂時期のバラツキが大きい状況です。

圃場の状況をよく確認し、刈遅れにならないようコンバインや乾燥機の準備を行いましょう。

1 適期刈取り

◎今年は8月初旬の低温により出穂の圃場間差が大きくなっており、登熟の進みもバラツキが見られます。出穂後積算気温を基に、圃場の登熟程度を見極めて適期に刈取りに入りましょう。

積算気温から見た刈取適期の目安

品種名	平坦部		中山間～山間部		青籾歩合	積算温度の目安
	出穂期	刈取適期	出穂期	刈取適期		
ヒメノモチ	7月27日	9月5日～9月8日	7月30日	9月9日～9月12日	15%	950℃～1050℃
あきたこまち	7月29日	9月7日～9月12日	8月2日	9月12日～9月13日	15%	950℃～1100℃
ひとめぼれ	8月2日	9月11日～9月17日	8月4日	9月13日～9月20日	15%	950℃～1100℃
はえぬき	8月3日	9月12日～9月24日	8月5日	9月15日～9月27日	20%	950℃～1200℃
雪若丸	8月3日	9月12日～9月24日			20%	950℃～1200℃
つや姫	8月8日	9月21日～10月1日			15%	1000℃～1200℃

※ 平坦は村山市河島の普及課生育診断圃、中山間～山間部は尾花沢市母袋の普及課調査圃の気象データ（AgriLook®のメッシュ気象データ）より算出。8月30日までは本年値、9月27日までは予測値、以降は平年値を使用。

※ 記載の出穂期はピーク時で、実際は期間に幅があり、刈取適期はこれにより前後する。

◎刈取適期予測には、やま米ナビ（Agri Look®）が便利です。

「作業適期カレンダー」での予測に加え、「つや姫」適期刈取マップ（令和8年産はまもなく更新）で適期刈取日が一目で確認できます。

右記QRコードを読み込むと無料でお使いいただけます。

ID・パスワードは普及課までお問合せください。



やま米ナビ
ログインページ

◎刈取前に青籾歩合（右図参照）や、玄米の様子を確認して適期判定を行いましょう。

刈取適期の青籾歩合は15～20%です。

※ 青籾歩合：1穂の籾のうち、緑色のままで黄化していない籾数の割合

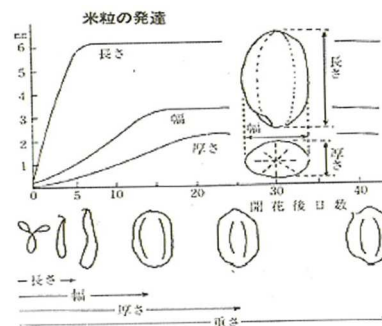
◎刈遅れは、胴割れの発生、光沢の低下による品質（等級）の低下を招くので適期内に刈り終えましょう。



2 収穫までの水管理

◎出穂後 30 日間は胚乳の大きさを決める時期で、イネはこの頃まで水を必要とします。

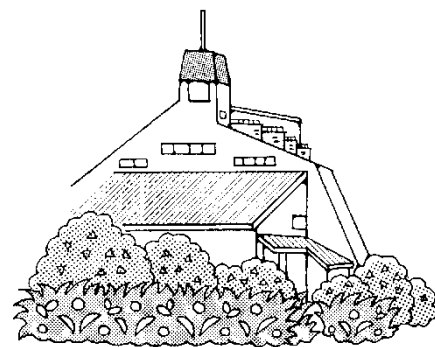
最後までしっかり登熟できるよう、根に水分を供給（足跡に水が残る程度=飽水管理）しましょう。



3 品質・食味重視の刈取り、乾燥・調製

◎倒伏や病害虫（いもち病、稲こうじ病、斑点米カメムシ類）により品質低下の恐れがある圃場は、別刈りして調製しましょう。

◎刈取り後に高水分のまま放置すると着色粒（ヤケ米）の原因となります。できるだけ早く乾燥機に張り込み、乾燥開始まで常温で通風しましょう。



《乾燥に注意が必要な籾の性状と乾燥法》

籾の性状	注意事項	乾燥方法
高水分籾 (青籾多い、倒伏した)	水分ムラ 無理な乾燥による品質低下	粒間水分差を縮めるため初期に通風乾燥を実施 2段階乾燥の実施（1次乾燥は17%まで。穀温を下げてから仕上げ乾燥）
立毛胴割れ	乾燥中の胴割れの増加	通常を送風温度より5～10℃低めとし、毎時乾減率を0.6%以下とする

◎籾すりは、籾混入や胴割れ、肌ずれが発生しないように試しずりを行い、ロール幅を調整してから行いましょう。

★異物、異品種の混入には細心の注意を払い、品種が切り替わる際には、コンバインや乾燥調製設備などの清掃を徹底しましょう！！



秋の農作業事故防止運動実施中！（9/1～10/31）



★機械の点検は、必ずエンジンを停止してから！
★コンバインでの田んぼへの進入、退出時は特に注意しましょう！

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8634,8636,8637